

第12回測量技術講演会

防災・減災のための地図の活用と人材育成
— 東日本大震災を教訓として —

2015年1月29日

北海道教育大学
氷見山幸夫

概要

東日本大震災における大規模な津波や地盤の変動による甚大な被害は、それぞれの地域の地形や土地利用などの状況を地図を用いて的確に把握していれば、かなり軽減できたと思われる。本公演では、そのような地図を利用する力すなわち「地図力」について紹介し、それを高めるための教育と人材育成について述べる。使用する地図は、

- ・原口強、岩松暉(2013): 東日本大震災津波詳細地図改訂保存版、古今書院.
- ・国土地理院: 5万分1地形図、2万5千分1土地利用図
- ・宮城県復興まちづくり事業カルテ

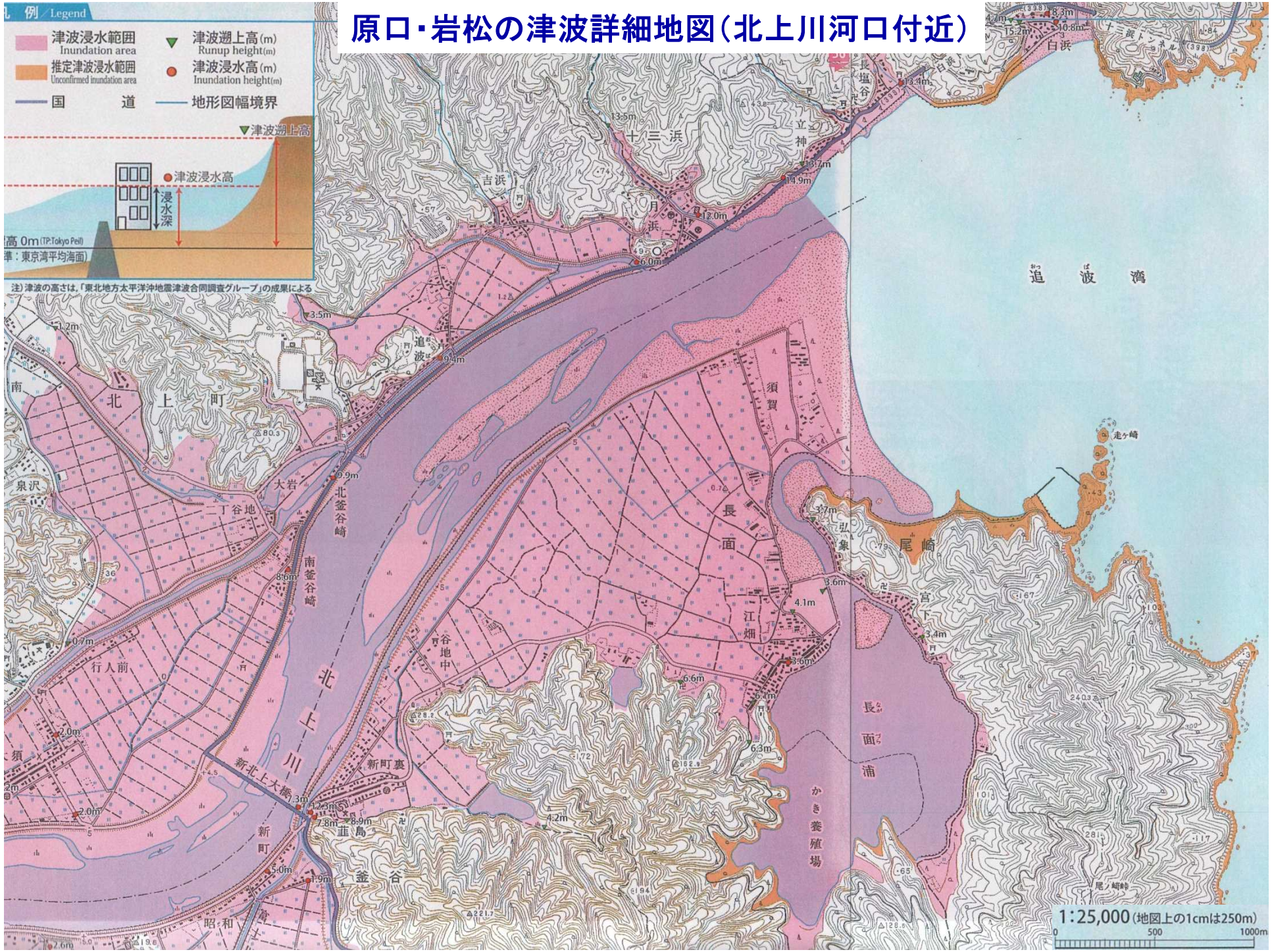
原口・岩松の津波詳細地図(北上川河口付近)

凡例 Legend

- 津波浸水範囲 (Inundation area)
- 推定津波浸水範囲 (Unconfirmed inundation area)
- 国 道
- 地形図幅境界
- 津波遡上高 (m) (Runup height (m))
- 津波浸水高 (m) (Inundation height (m))

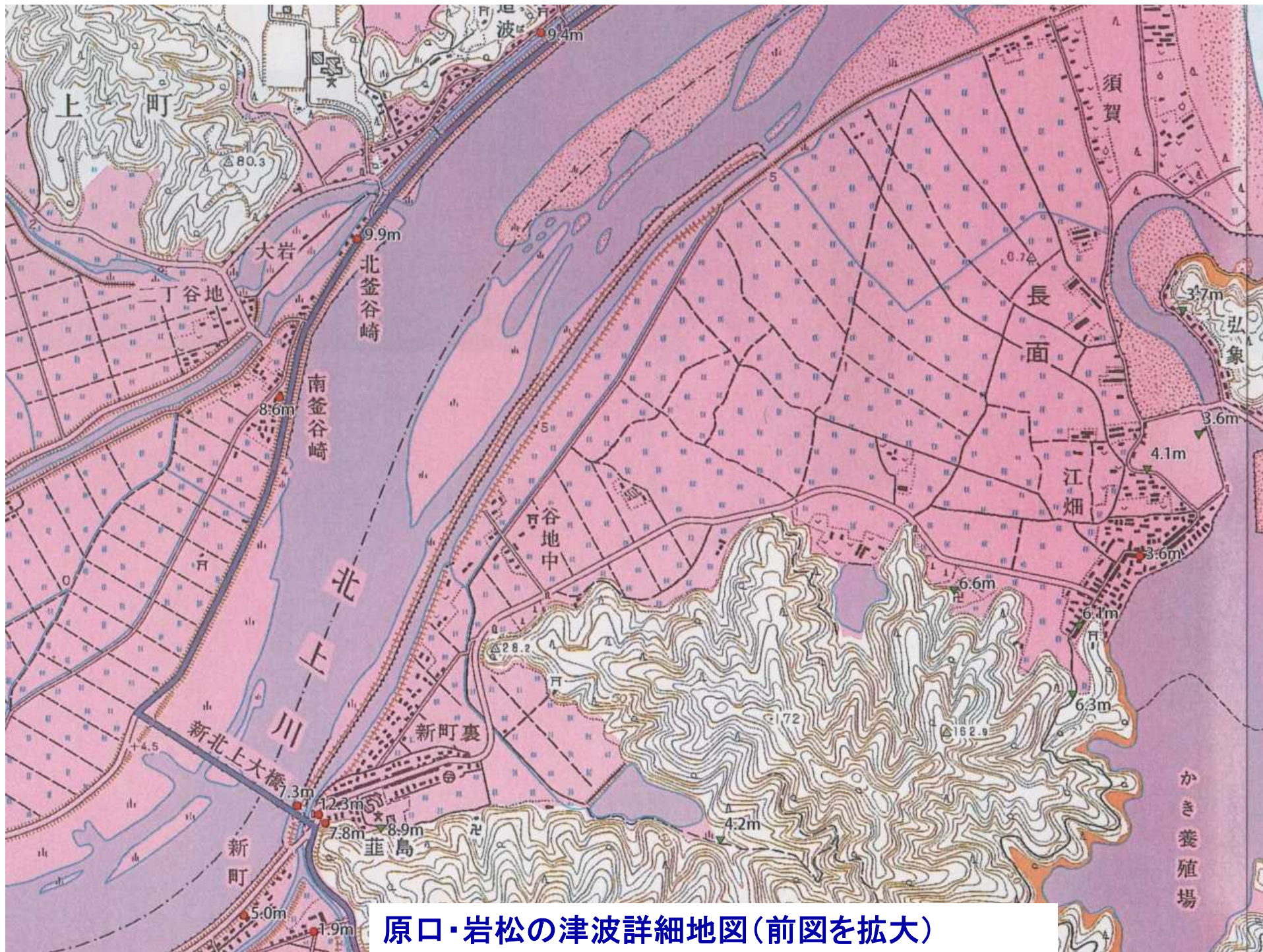
高 0m (TP: Tokyo Peil)
準: 東京湾平均海面

注: 津波の高さは、「東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ」の成果による



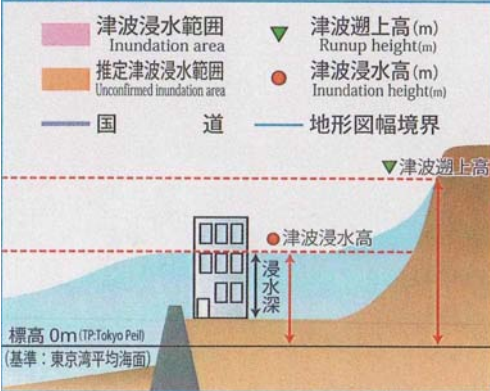
1:25,000 (地図上の1cmは250m)

0 500 1000m



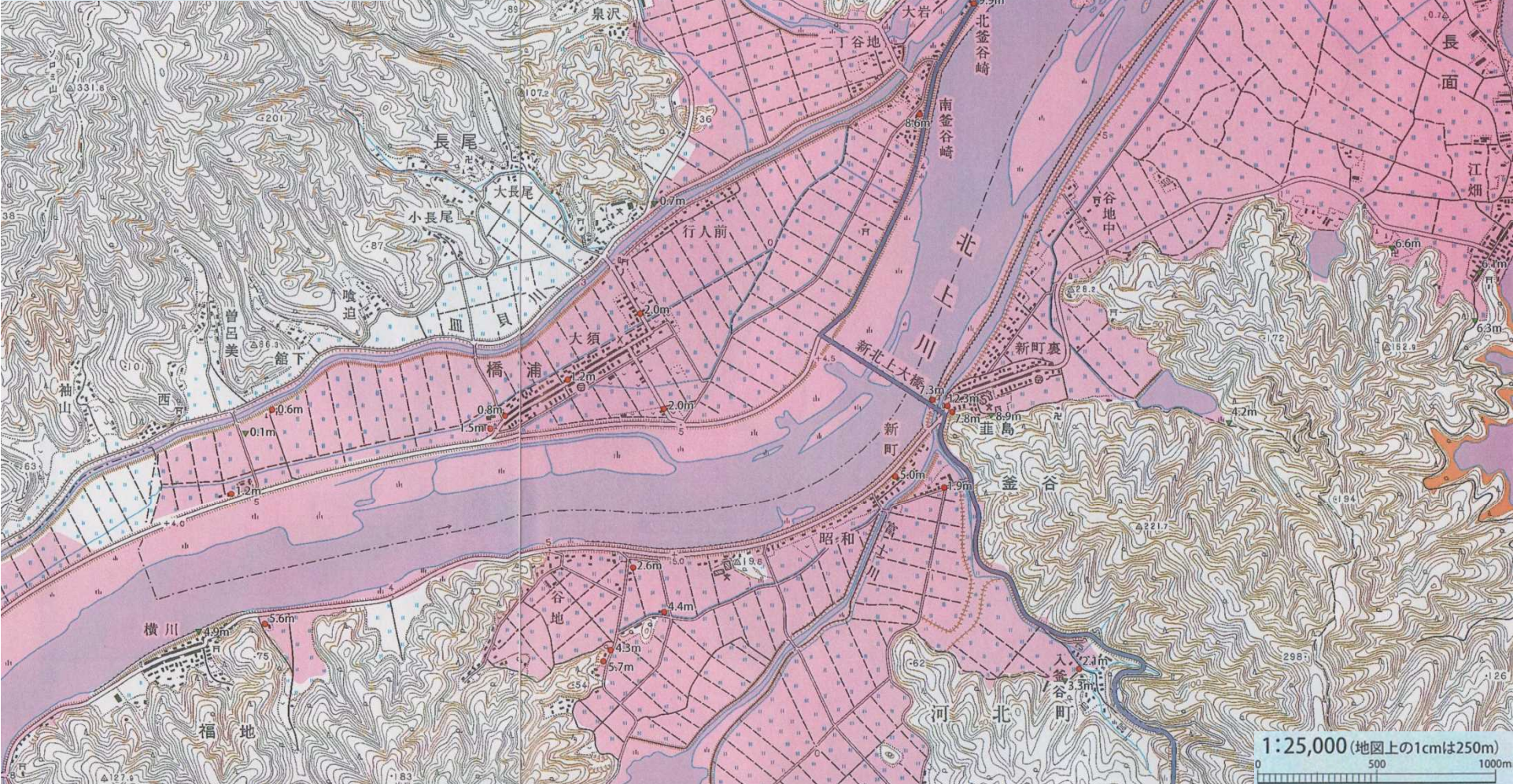
原口・岩松の津波詳細地図(前図を拡大)

凡例 Legend



原口・岩松の津波詳細地図(横川付近)

注) 津波の高さは、「東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ」の成果による











原口・岩松の津波詳細地図(石巻)

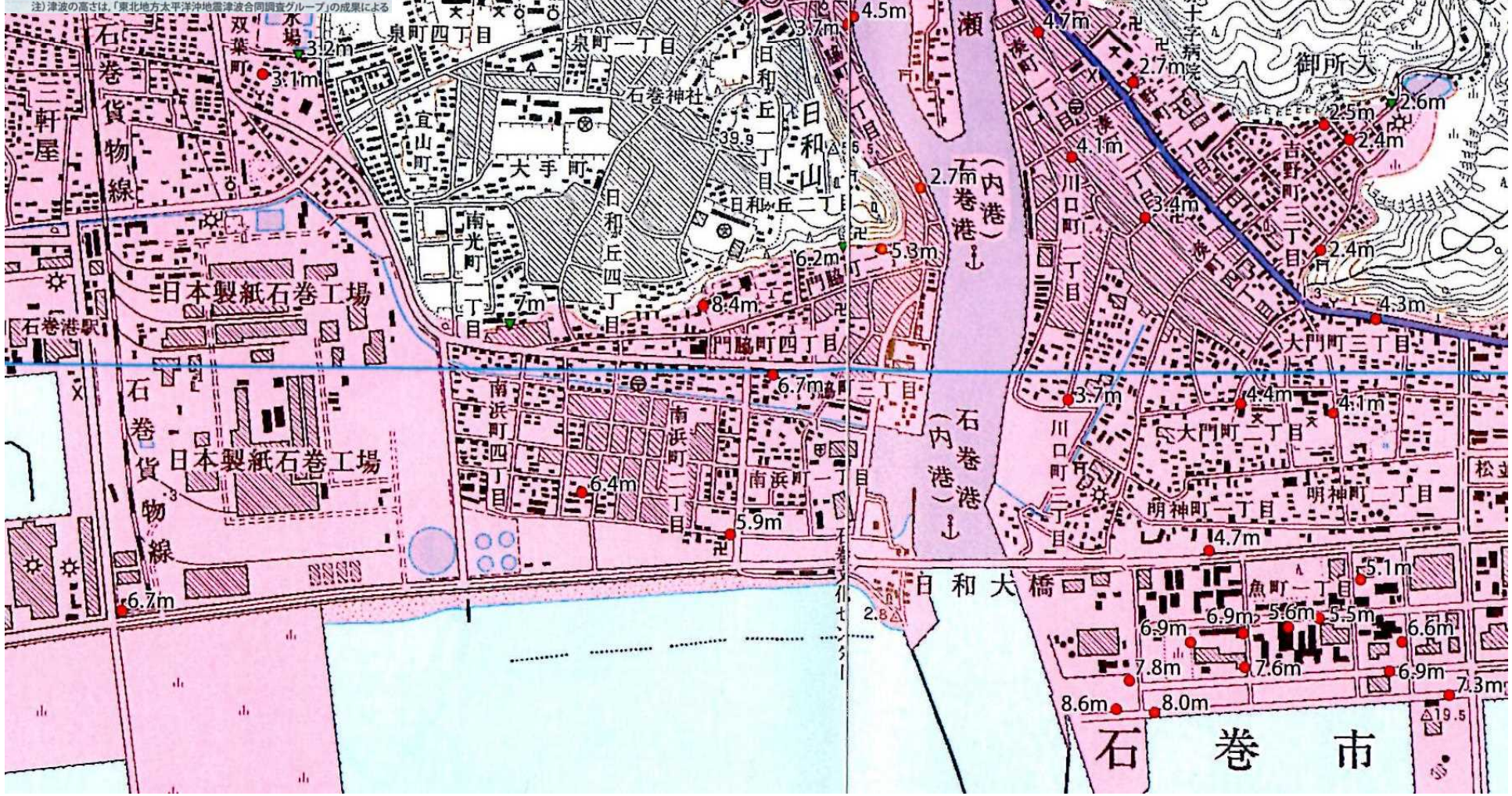
凡例 Legend

- 津波浸水範囲 (Inundation area)
- 推定津波浸水範囲 (Unconfirmed inundation area)
- 津波遡上高 (m) (Runup height (m))
- 津波浸水高 (m) (Inundation height (m))
- 国 道 (National Road)
- 地形図幅境界 (Topographic map boundary)

標高 0m (TP:Tokyo Peil) (基準: 東京湾平均海面)

注) 津波の高さは、[東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ]の成果による

1:25,000 (地図上の1cmは250m)



17. 日和が丘一丁目地区
復興公営住宅整備事業
(市) (H28年度完了)

新内海橋復旧 (県)
(H27年度完了)

門脇流留線整備 (県)

大街道石巻港線整備 (県)

旧北上川

市

5. 新門脇地区
被災市街地復興土地区画整理事業
(市) (H30年度完了)
復興公営住宅整備事業 (H27年度完了)

石巻湾

旧北上川堤防整備
(国) (H27年度完了)

- 17 日和が丘一丁目復興公営住宅
- 18 上釜南地区
- 19 下釜第一地区
- 20 下釜第二地区





す

こ

や

が

に

育

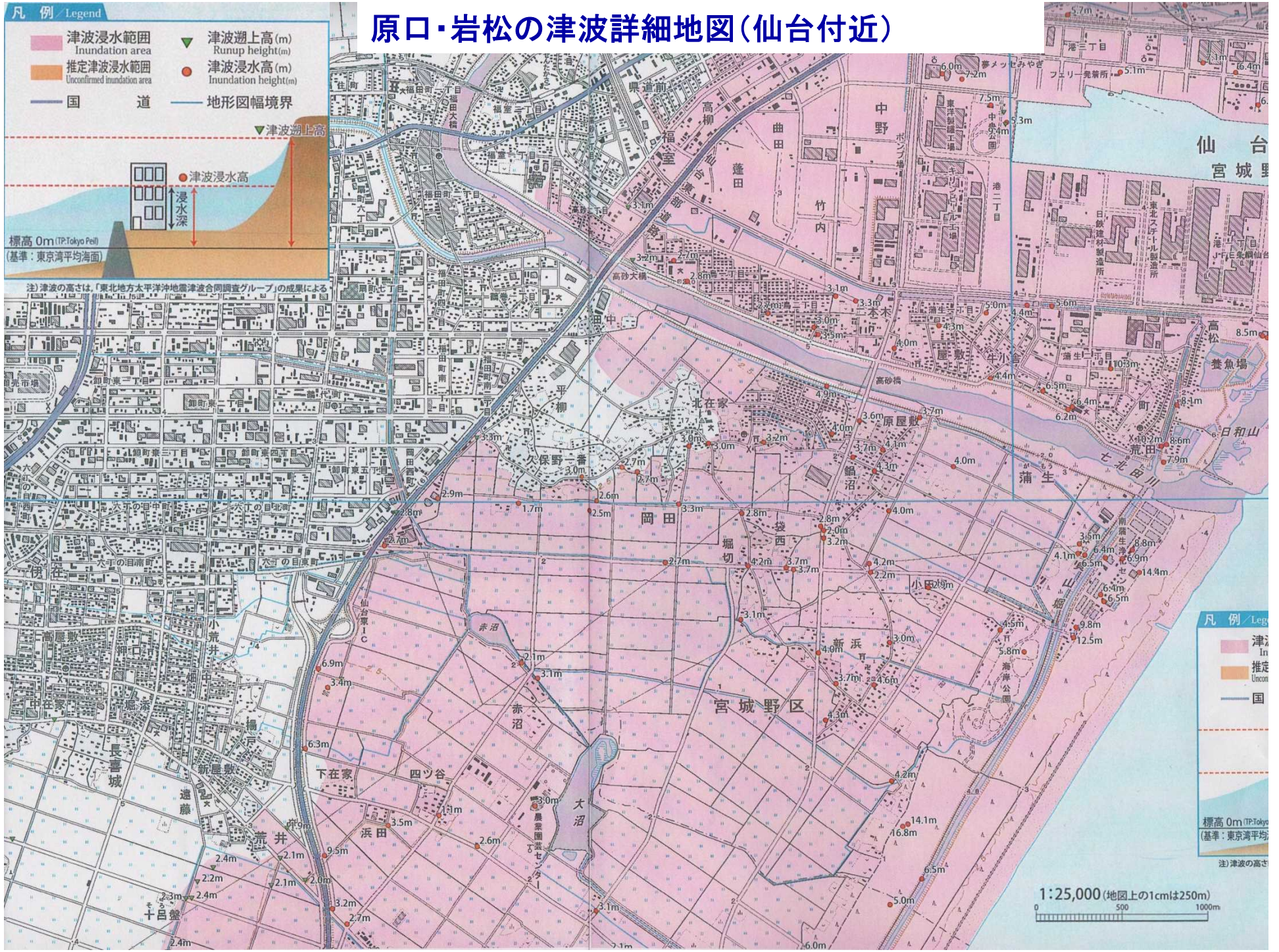
て

心

と

体

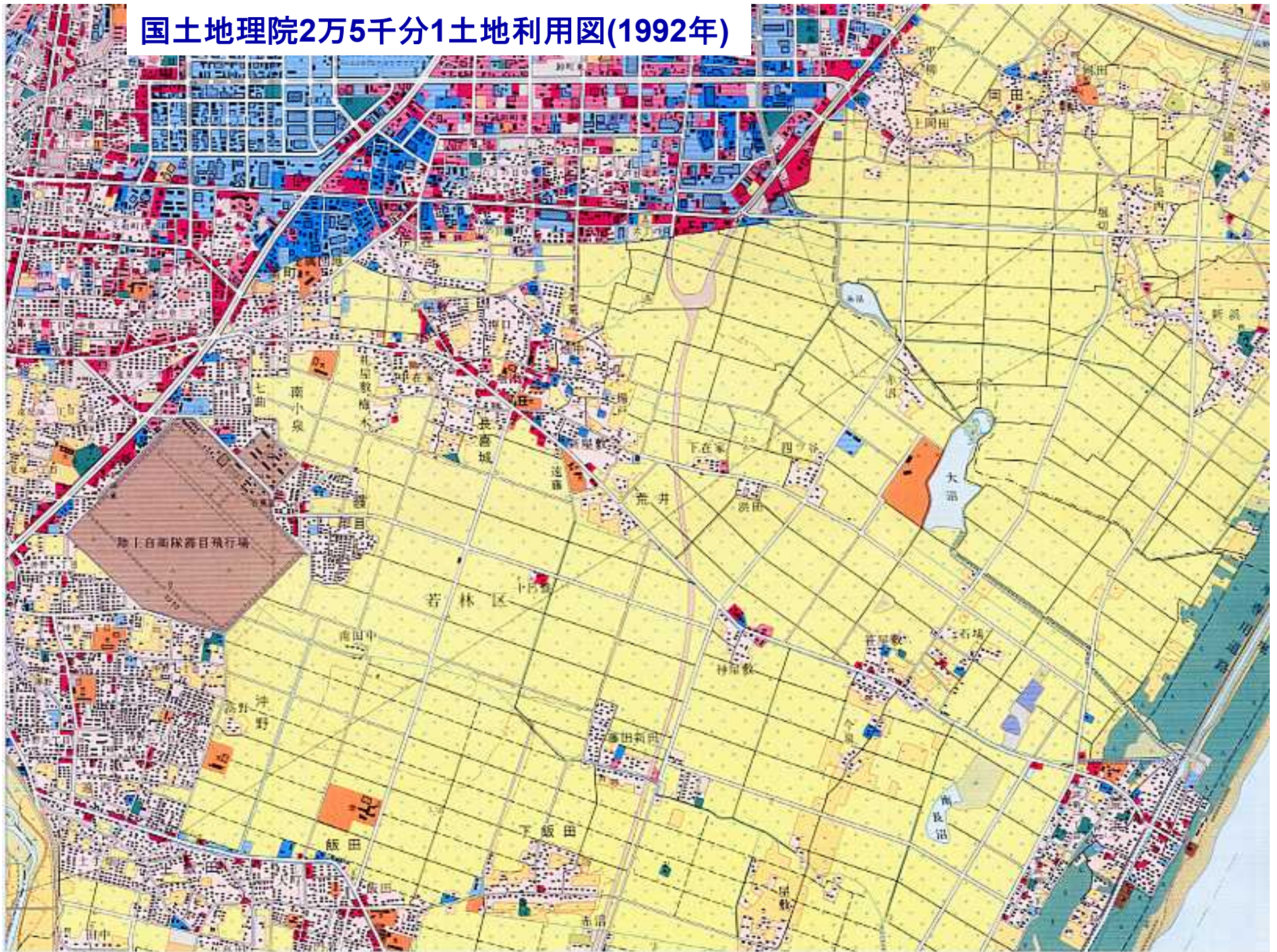
原口・岩松の津波詳細地図(仙台付近)





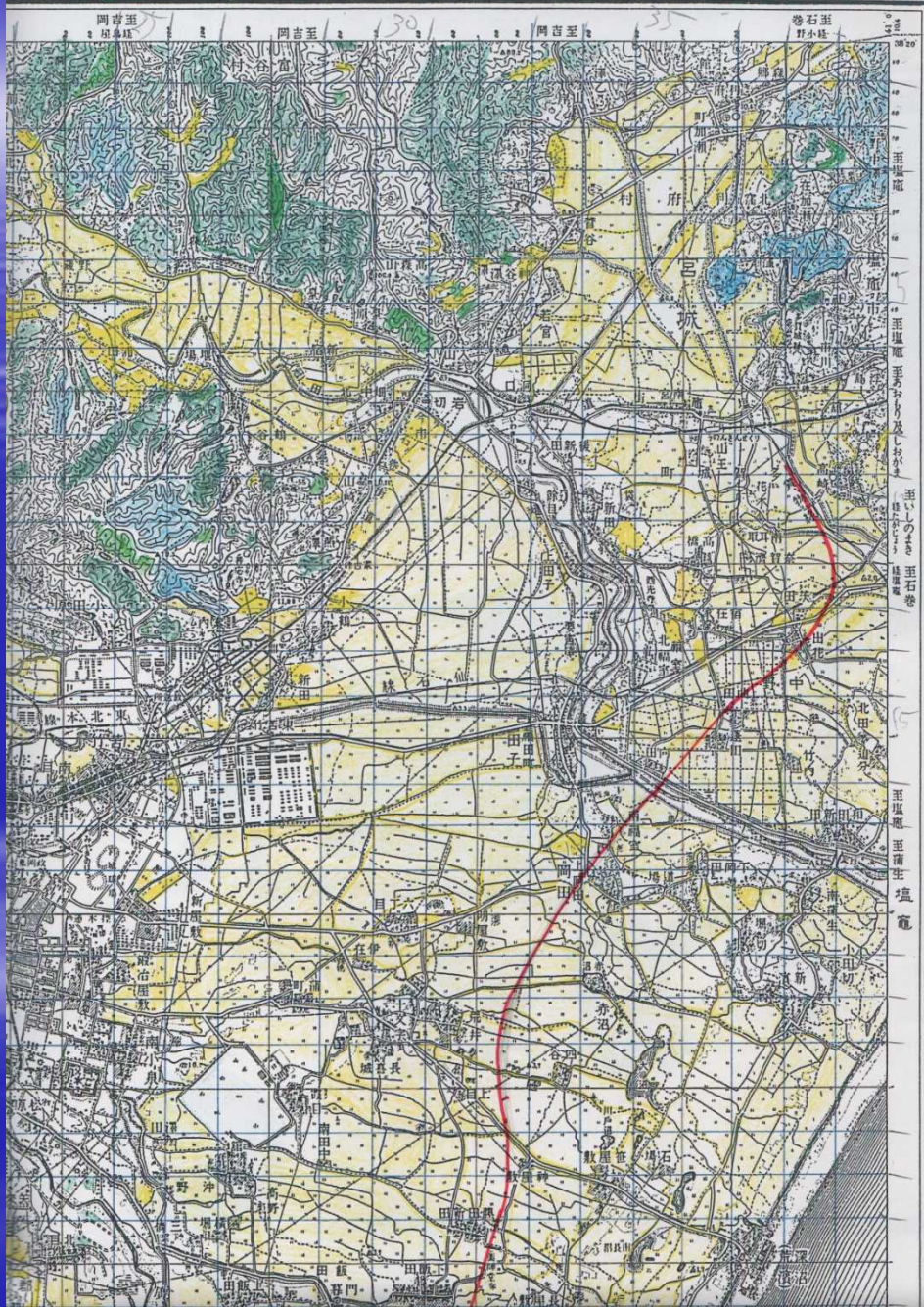
国土地理院2万5千分1土地利用図(1992年)

国土地理院2万5千分1土地利用図(1992年)



J433-4-3

市電塩宮
郡城宮
市取名
郡田榮



応急修正版

此の図は正式の修正測量にかわり空中写真並びに各種資料に基づいて応急的に修正したものである

五万分一地形図仙台三号表十六面

93
4/26
修正